

# 第5学年 国語科学習指導案

時間・場所 2校時 5年2組教室  
 学 級 5年2組 27名(男子13名, 女子14名)  
 指 導 者 赤石 茜

- 1 単元名 伝記を読んで、自分の生き方について考えよう  
 学習材名 中心学習材 「百年後のふるさとを守る」(光村図書 5年)  
 補助学習材 「レイチェル・カーソン」  
 ジンジャー＝ワズワース作 上遠恵子訳 偕成社 他

## 2 単元について

児童は、説明的文章「生き物は円柱形」で、要旨をまとめ、筆者の考えに対する自分の考えをまとめた。また、「千年の釘にいどむ」では、ポップをつくることを通して登場人物の考えに共感しながら自分の考えをもち、意欲的に学ぶことができた。日常においては、読書の好きな児童は多いものの、様々な文種の本に慣れ親しむ機会は少ない。また、本から自分の生き方について考えるという経験は普段の読書だけでは難しい。

中心学習材「百年後のふるさとを守る」は、「浜口儀兵衛」という人物の半生を描いた伝記である。伝記の特徴「特徴的なくつかの出来事を取り上げて、時間を追って書かれている部分、出来事を書いている部分と筆者の解説の部分」が分かりやすく、初めて教材として伝記と出会う児童にとって、伝記の読み方を理解したり、自分と関わらせて生き方を考えたりするには、適した教材であると考え。儀兵衛の生き方や考え方に触れることにより、これまでの自分の体験や考え方と関わらせながら、今後の自分の生き方に対する考えを広げたり深めたりするのにふさわしい学習材である。補助学習材は、指導者が選定した伝記である。中心教材での読みを生かし、児童が興味をもちながら様々な人々の生き方に目を向け、自分の生き方について考えられるような作品を選定した。

本単元の指導にあたっては、児童が初めて出会う伝記の学習に意欲的に取り組むことができるよう、人物の生涯をすごろくの形になぞらえて学習を進めていく。第一次では、授業者が作成した「伝記すごろく」のモデルを紹介し、単元のゴールを示す。伝記について学んでいくことや、自分が選んだ伝記についてすごろくをつくりながら学習を進め、完成したものを図書館に展示し、図書館を利用する他の学年が伝記に興味をもてるようにする、という学習の見通しをもたせる。また、並行読書を始める。第二次では、伝記の構成を理解させ、儀兵衛の行動や考え、印象に残る言葉、生き方、考え方、生き方考え方に対する自分の考えをすごろくに表しながら読んでいく。第三次では、二次までの学習を生かし、自分が選んだ伝記についてすごろくをつくりながら学習を進めていく。

## 3 単元の目標

- 「伝記」という文章や、そこに描かれた人物の人生に興味をもち、読むことを楽しもうとしている。  
(関心・意欲・態度)
- 伝記の特徴を理解している。  
(C読むこと イ)
- 自分の経験や考え方と照らし合わせて、描かれている人物や出来事、筆者のものの見方・考え方についての感想をもっている。  
(C読むこと ウ)
- 同じ種類の本や文章を読み、「伝記」のもつ構成について気づいている。  
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(キ))

## 4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・「伝記」という文章や、そこに描かれた人物の人生に興味をもち、読むことを楽しもうとしている。	・伝記の特徴を理解している。 イ ・自分の経験や考え方と照らし合わせて、描かれている人物や出来事、筆者のものの見方・考え方についての感想をもっている。 ウ	・同じ種類の本や文章を読み、「伝記」のもつ構成について気づいている。 イ(キ)

## 5 学習計画(全9時間)

- 伝記すごろくを提示し、単元の見通しをもつことができる。……………(2)
- 「儀兵衛」がしたことを軸に、すごろくにまとめる。……………(3)
- 自分の選んだ伝記について、すごろくにまとめる。……………(本時1/2)
- 被伝者と自分を比べて、生き方について考えたことを書く。……………(1)
- 互いのすごろくを紹介し合うことを通して感想を交流する。……………(1)

6 本時の指導（6／9）

(1) ねらい

自分の選んだ伝記について、すごろくにまとめることができる。

(2) 展開

学 習 活 動	学 習 内 容	指 導 の た め の 工 夫 ・ 評 価
<p>か 1 前時の学習を想起する。</p> <p>が 2 学習課題を確認する。</p> <p>自分の選んだ伝記について、すごろくにまとめよう。</p>		<p>◇ 壁掲示で、前時までに学習したことを想起させ、本時においても、今までと同じように伝記を読み取っていくことをイメージできるようにする。 □ (視覚化)</p>
<p>3 書く内容と、手順を確認する。</p> <p>や 4 自分の選んだ伝記についてすごろくにまとめしていく。</p> <p>く 5 各グループで、自分が選んだ転機となる行動とそれを選んだ理由を紹介し合う。</p>	<p>○①誕生の部分、転機となる行動、会話などと晩年の部分を確認すること。</p> <p>②書く分量について確認すること。</p> <p>○これまでの学習を生かして自分の選んだ伝記についてまとめていくこと。</p> <p>○グループで、なぜその行動をすごろくに選んだかを紹介し、感想を伝え合うこと。</p>	<p>◇ 並行読書で読みながら付けていた付箋を確認させる。 ポイントとなる行動→黄色</p> <p>◇ 書く分量は4枚以上。誕生、転機となる部分、晩年を初めに書かせる。</p> <p>◇ 二次と同じように、事実、考えたこと、を書かせていく。</p> <p>◇ 伝記の人物と自分の生き方とを関わらせるように紹介できるようにする。</p> <p>◇ グループでの交流の視点を掲示し視点に沿った交流になるようにする。 □ (視覚化)</p> <div data-bbox="976 1384 1414 1630" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;評価&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人物の行動や考えをもとに、すごろくにまとめることができる。</li> </ul> <p>&lt;評価方法&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すごろく・発表の様子</li> </ul> </div>
<p>よ 7 本時の学習を振り返る。</p> <p>8 次時の学習について確認する。</p>		<p>◇ できたこと・分かったこと・交流で学んだことなど、学習を振り返ることができるようにする。</p> <p>◇ 次時は、本時の続きを書くことを確認する。</p>